

# 日本水泳連盟所属競技者 <TUE ガイド>

(この内容は 2026 年 12 月 31 日まで有効) Ver.1

日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

## ① TUE (Therapeutic Use Exemptions: 治療使用特例) とは

禁止物質・禁止方法を用いた治療を要する医学的状態にある競技者が申請するもので、付与されれば、特例として認められた禁止物質・方法を、認められた期間のみ、使用できるものです。競技者は治療を受ける前に、医療従事者へ「自身にはアンチ・ドーピングのルールが適用される」「禁止物質、禁止方法を使用せずに治療したい」ことを伝える責務があり、その上で付与が必要な日(競技大会など)の30日前までにTUEの申請を行う必要があります。30日前を過ぎてしまったら受け付けてもらえないということではありませんが、付与が必要な日までに審査が完了しない可能性があります。医療従事者向けに、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)ホームページ内の「[薬の使用及び治療使用特例\(TUE\)](#)」に概要が掲載されているほか、「[医療関係の方へ](#)」の中にも多くの資料が掲載されています。「[2026年禁止表国際基準](#)」、「[TUE取得の条件](#)」もJADAのホームページに掲載されています。

## ② TUEの規則は、競技者の競技レベル(競技者カテゴリー)によって異なります。下の表を確認して下さい。

競技者カテゴリー	競技者の状況
A (国際レベル競技者)	World Aquatics により「国際レベル」と定義・分類された競技者 (World Aquatics による検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) <sup>(注1)</sup> 又は、 World Aquatics 指定の国際競技大会に出場する競技者)
B (国内レベル競技者)	JADA による検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) <sup>(注2)</sup> 又は、 JADA が指定する「国内最高レベルの競技大会」(日本選手権や国民スポーツ大会)に出場する競技者
C (A,B に該当しない競技者)	上記以外の日水連登録競技者(インカレ、インターハイ、全中、JO から各県 B 級大会なども含む) (通常の TUE 申請は必要なし。検査を受けて陽性となった場合に遡及的 TUE 申請をする。)

※年代別国際大会に出場競技者の場合は、日本水泳連盟事務局にお問い合わせください。

(注1)(注2) World Aquatics や JADA によって指定され、ADAMS で居場所情報を提供している競技者

TUE 事前申請が必要な JADA が指定する 2026 年度の水泳競技「国内最高レベルの競技大会」は以下の見込みです。2026 年 3 月に [JADA ホームページ](#) にて情報が公開されます。

- ・第 102 回 日本選手権 競泳/飛込/水球/AS/OWS
- ・第 68 回 日本選手権(25m)
- ・第 80 回 国民スポーツ大会 競泳/飛込/水球/AS/OWS

## ③ TUE の申請先と申請書類の取得、記載言語

競技者カテゴリー	TUE の申請先	申請書類	記載言語
A	ITA	ITA (国際検査機関) ホームページ( <a href="https://ita.sport">https://ita.sport</a> )からダウンロード	英語
B	JADA	JADA ホームページ( <a href="http://www.playtruejapan.org">http://www.playtruejapan.org</a> )からダウンロード	英語
C	JADA	JADA ホームページからダウンロード、後述の遡及的 TUE として申請	英語

※カテゴリーB から新たにカテゴリーA に入った競技者について: JADA が付与した TUE を取得済の場合、ITA (国際検査機関) に JADA-TUE の承認申請をすれば自動的に承認されます。新規の申請は直接 ITA に行います。

## ④ TUE の種類について ~通常の TUE と遡及的(そきゅうてき) TUE~

治療目的に禁止物質・禁止方法の**使用が予定**される場合に事前に申請する通常の TUE と、**使用後**に申請する遡及的 TUE の 2 種類の申請方法があります。

通常の TUE はカテゴリーA、B の競技者が該当します。

遡及的 TUE は 2 通りあります。1 つ目は、カテゴリーA および RTP/TP のカテゴリーB の競技者が、急病や病状の変化などのために予定していなかった治療の中で使用した禁止物質・禁止方法について事後に申請するものです。2 つ目は、RTP/TP ではないカテゴリーB および C の競技者が「国内最高レベルの競技大会」**ではない競技会**でドーピング検査を受け、その結果、禁止物質が検出された場合に、事後に申請するものです。ただし、申請した遡及的 TUE が認められるのは、確立された標準的な治療で、かつ他の代替治療がない場合で、診断過程(診察・検査記録)、

通院記録などの医療情報を提出できることが条件になりますので、病院受診時には必ず担当医にアンチ・ドーピングに関してお伝えください。詳しくは別紙<[担当医師へのお願い](#)>をご参照ください。

<<TUEが必要な状況>>

競技者カテゴリー	国際競技会	JADA 指定 「国内最高レベルの競技大会」	その他の国内競技会・ 競技会外を含めて常に
A	必要	必要	必要
B	該当なし	必要	JADA RTP/TP (は必要 その他は遡及的 TUE
C	該当なし	該当なし	全て遡及的 TUE

⑤ 注意が必要なケース：

気管支喘息治療薬のベータ2作用薬であるサルブタモール、サルメテロール、ホルモテロール、ピランテロールの吸入は、国内で認められた用法用量であればTUEの申請は必要ありません。他のベータ2作用薬の吸入はTUE申請が必要です。詳しくは別紙<[担当医師へのお願い](#)>および<[ぜんそくの薬を使うときの注意点](#)>をご参照ください。

漢方薬はTUE申請しても受け付けてもらえません。

2022年から競技会時の糖質コルチコイドの注射使用、経口使用、経直腸使用は、全て禁止になりました。特に「痛み止めの注射」を受ける場合は注意が必要です。詳しくは別紙<[「糖質コルチコイド（ステロイド）」について](#)>をご参照ください。

⑥ TUEの提出（通常のTUEおよび遡及的TUEの提出）

JADA や ITA に提出前に日水連事務局に原本を郵送して下さい。急ぎの場合は先に FAX で送付ください。日水連事務局は TUE の審査権限はありませんが、基本的な情報の不備や明らかな誤記など、形式的確認を行っています。内容を確認の上、日水連事務局より JADA あるいは ITA に転送いたします。TUE 申請結果に関しては、ADAMS 利用者は ADAMS 上で確認ができ、そうでない競技者は JADA から郵送で報告があります。

郵送先：〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町 4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8 階  
日本水泳連盟事務局 TUE 申請係 FAX 番号：03-6812-9062

通常の TUE を休日などに大至急提出したい場合は日水連事務局へ FAX すると同時に JADA (FAX) や ITA (E-Mail 添付) へも提出下さい。その後、原本を日水連事務局に郵送して下さい。

FAX 番号： [日水連事務局 03-6812-9062](tel:03-6812-9062)、 [JADA 03-5801-0944](tel:03-5801-0944)

ITA の場合：<https://ita.sport/tue/> 「HOW TO APPLY TO THE ITA'S ITUEC FOR TUE?」を参照し、[tue@ita.sport](mailto:tue@ita.sport) へ送付する

⑦ その他

TUE の付与は年々厳しくなっています。「治療で禁止物質を使用していた → TUE 申請をする」の順ではなく、他に禁止物質を使わない治療法が本当はないのか再度医師と相談し、その上で「間違いなく他に治療の選択肢がない」という場合に TUE を申請するようにしてください。TUE は診断書ではなく「申請書」ですが、作成依頼時には診断書同様に費用がかかります。英語での記載のため、通常の診断書よりも高いことが多く、数万円することもあります。また、申請先に応じて ITA および JADA のホームページから最新の書式を入手して記載して下さい。申請に際し、日水連は競技者への助言はできますが、審査は ITA や JADA であることをご承知下さい。

最後に、TUE 申請の判定書が手元に届くまでは、手続きは完了ではありません。TUE 申請書を提出前にコピーを取り手元に残すようにして下さい。ITA や JADA から不備の修正、追加情報の指示連絡が来た時に、申請書（コピー）を見ながら説明を受けることができます。TUE 書類への記載住所、電話番号などの不備（間違い）により ITA や JADA から書類に関する問い合わせ連絡がつかないことが多く発生しているようです。十分ご注意ください。

また、付与された TUE には期限があります。期限切れにも十分に注意してください。